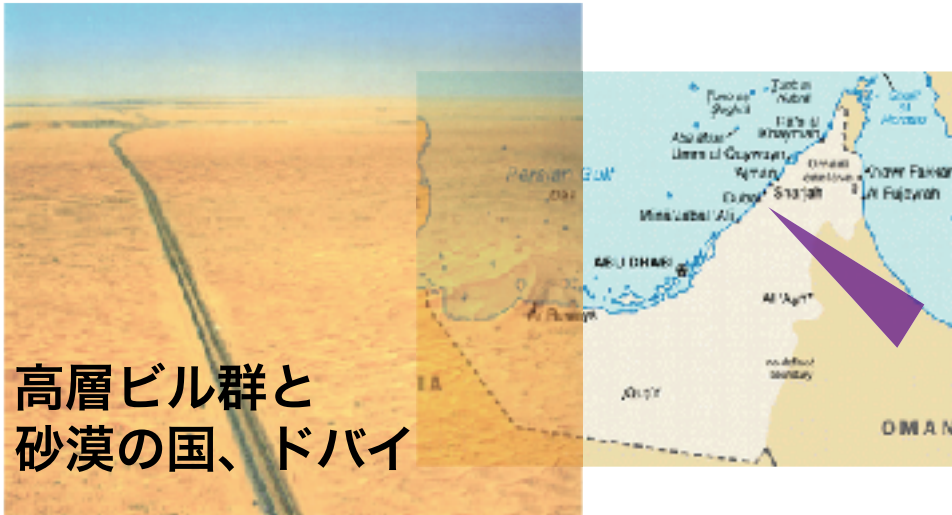


ドバイで撮影

ドバイで撮影！？という突飛な感じがするかも知れません。フランスでは最近、モダン建築と都市部での撮影許可が取りやすいドバイが注目を集めています。この度ミストラルフィルムはドバイの現地プロダクションと提携を結び、刻々と新しいビルが建設されるこの新しい国の資料をリアルタイムで入手することができるようになりました。今回はその一部を紹介いたします。



高層ビル群と砂漠の国、ドバイ

アラブ首長国連邦 (United Arab Emirates 以下UAE) の1首長国であるドバイは近年観光開発がめざましく、ヨーロッパではリゾート地としての知名度が上がってきました。2001年より日本からの入国も観光ビザが不要になりました。

日本ではUAEイコール産油国のイメージが強いですが、それもそのはず、日本の原油の全輸入量の1/4はUAEからの原油が占めています。一方、UAEでは日本からの自動車、電気製品の輸入が多く、両国は貿易上深いつながりがあります。石油の産出は実際にはアラビア半島の隣国で行われており、ドバイ、およびUAEの経済は石油産業に関連した第三次産業で成り立っています。「石油、砂漠、イスラム教」を想像するのは必ずしも間違いではありませんが、街の景観は写真にあるように、とても近代的です。

(他の写真を見る >> <http://www.mistral-japan.co.jp>)

ドバイでの撮影のメリットはなんと言っても超モダンな建築と、都市部での車撮影の可能性にあります。斬新なデザインの高層ビル群の上をヘリコプターで空撮、メインストリートの交通をシャットアウトして車を撮影、というようなダイナミックな演出がドバイでは可能です。アラブの上流階級の人たちの車や飛行機に対する情熱はよく知られるところで、スタントを使った撮影に対する理解もあります。機材、スタッフも特殊な場合を除き現地調達できます。全ての建物が新しく、道路や公園はメンテナンスが行き届いています。海があることも忘れてはいけません。ヨットハーバーには豪華なヨットが所狭しと並んでいて、この国の豊かさを誇示しているようです。

観光のハイシーズンは気候がもっとも穏やかな2月から3月にかけてですが、この時期に開催されるショッピングフェスティバルの為に世界中から観光客が押し寄せます。フェスティバルの後、4月から6月にかけてが、一年で最も撮影のしやすい季節といえるでしょう。7月から9月にかけては日中気温が50°Cまであがるので、それなりの覚悟が必要ですが、観光のオフシーズンのためホテルやエアチケットが安くなるというメリットがあります。ちなみにドバイはUSドル基準のため、近年の日本円に対するユーロ高の影響は受けていません。

ミストラルフィルムは現地の事情に精通したドバイのスタッフと提携し、スムーズな撮影を可能にしています。まだあまり知られていないドバイでのロケを検討してはいかがでしょうか？お問い合わせはミストラルジャパンへ。

>> <http://www.mistral-japan.co.jp>

